

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情 宣 部

2023年 統一地方選挙 争点

① 地域医療



地域医療とは「地域住民が抱えるさまざまな健康上の不安や悩みをしっかりと受け止め、適切に対応すると共に、広く住民の生活にも心を配り、安心して暮らすことができるよう、見守り、支える医療活動である」とあります。医療や介護の需要が増加する一方で、それを支える財源や人材は大幅に不足しています。特に地方では過疎化などにより医師不足がすでに深刻化しはじめています。臨床研修制度の導入によって研修医が研修先の病院を選択できるようになり、待遇や条件の良い都市部の民間病院に希望が殺到し、大学病院が研修医を確保しにくくなりました。その結果、大学病院は関連病院に派遣していた医師を次々と引きあげ、医師不足が起こっているとされています。特に地方では、医師数や医療施設が絶対的に不足しているため医師1人にかかる負荷が大きすぎるといった問題もあります。医師が少ない地域ほど遠方の住民からも頼られ、また診療範囲も広くなり、交代要員も不足していることから休みが十分に取れないといった問題もあります。過重労働や医師への過度な負担は、医師の早期退職や過労死などの問題を引き起こしています。

通勤や通学、買物など、日常生活に欠かすことのできない交通は、自動車の普及や人口過密・過疎の進展等に伴い各地域において様々な問題を抱えており、その解決が強く求められています。1世帯に対する自動車の高い普及状況と人口の動的な変化を経て地域交通は次第に次のような問題を抱えるようになりました。

大都市においては、都心部の業務機能が集積する一方、人口のドーナツ化現象が顕著になり、通勤・通学時の鉄道輸送の混雑は依然として著しく、自動車交通量の増大による慢性的な交通渋滞のため、バスは表定速度が低下し、定時運行の確保が図れないことなどによりその機能が十分発揮できない状況にあります。また、高い自動車普及状況から、交通事故や交通公害などを引き起こし、大きな社会問題となっています。地方中枢・中核都市においては、近年の人口の急増と自動車交通量の増大により、中心部における交通渋滞等のいわゆるミニ大都市問題を発生させる一方、その周辺部では人口の分散・拡大化に伴い、公共交通機関による輸送需要への対応を次第に困難なものにしてきています。更に、農山漁村地域においては、自家用乗用車の急速な普及と人口の減少により、公共交通機関の利用が激減し、その経営を極度に困難にしており、公共交通機関を利用せざるを得ない人々の足の確保という問題を発生させています。

② 地域交通



推薦候補者の当選に向けて

紹介者拡大と後援会活動を推し進めよう!!